

## キリン株式会社 様 〈キリングroup本社〉

本社移転で、グループ17社、2,800名のスタッフが集約。

「Smart Time Share (スマートタイムシェア)」の導入で、コミュニケーションの要・会議室を効率的に運用。





集中管理端末および各部屋の電気スイッチ付近に、「Smart Time Share」の使用方法を明記した案内を設置。その他、執務エリア内のデジタルサイネージにも情報を掲示するなど、使用方法の早期浸透を促している。

## キリン株式会社 様 (キリングroup本社)

「おいしさを笑顔に」をスローガンに掲げ、国内外での酒類、飲料の製造、販売を中心に、安全・安心で高品質な商品、サービスの提供を続けるキリングroup。東京・中野への本社移転を機に、group 17社、約2,800名のスタッフがひとつのオフィスに集約、「Nakano Style」をキーワードに新しいオフィス文化の創造を実践しています。

<http://group.kirin.co.jp/>

### 課題

- 127の会議室を効率的に管理・運用し、有効活用したい。
- 使用する人数、会議数に対して会議室が不足しており、常に予約で埋まってしまっている。
- 会議室使用状況の管理が徹底されておらず、空室、空き時間の有効活用ができていない。

### 解決

- ◎ 127の会議室のスムーズな運用が可能に。
- ◎ 会議室のキャンセル時および会議早期終了時における、再使用率の向上。



## 29台の集中管理端末で、 127の会議室を能率的に運用。

キリングroupは、2013年4月～5月にかけて、東京・中野に本社を移転。キリンビールやメルシャン、キリンビレッジ、小岩井乳業等のグループ17社、約2,800名のスタッフがひとつのオフィスに集約されました。会議室数は、全部で127室。「Smart Time Share」において、過去最大規模での導入となりました。そこで、通常1室につき1台設置する部屋前表示端末は採用せず、3～5室ずつをグルーピング、29台の集中管理端末で効率的に管理。さらに、57室の会議室が集中し、社内外のコミュニケーションの要となる18階のフロア中心部には、全会議室の使用状況が一覧できる総合案内表示を設置しました。こうした工夫により、大規模な会議室運用においても、空室状況のスムーズな確認が可能となりました。今回、「Smart Time Share」を含む、移転に関わるさまざまなシステムの導入などの計画、実行を主導したのが「グループ本社移転プロジェクト」のメンバーの皆様でした。

「この度の移転においては、ただ物理的に引っ越すだけではなく、新たな仕事の仕方を模索し、ワーキングスタイルを変えていくということも大きなテーマとなっており、『Nakano Style』というキーワードを掲げ、全社的に取り組んでいます。会議室の有効利用も改善すべき課題として設定されており『Smart Time Share』もそのための仕組みとして重要な位置づけとなっています」（キリンビジネスシステム／「グループ本社移転プロジェクト」メンバー 小林さん）

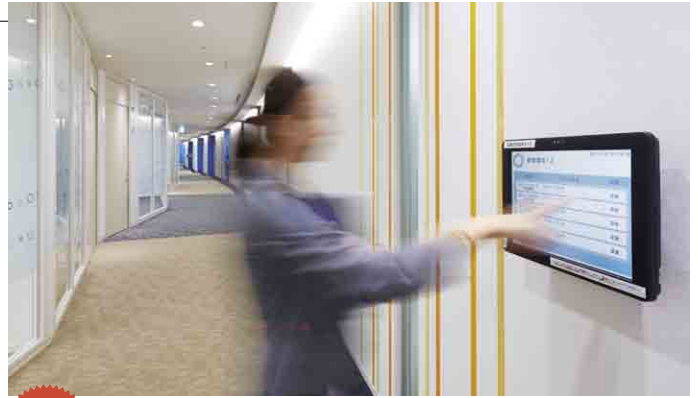
「Smart Time Share」が本格的に稼働して約1カ月。キャンセル時および早期終了時における会議室の再利用率は30%ほどに。社内でもその効果が徐々に実感されつつあります。「まだ、入室時における集中管理端末の操作忘れやミスが発生している状況です。今後は、使用方法をさらに徹底することで、より有効に活用していきたいですね」（小林さん）

「Smart Time Share」の浸透による、さらなる会議室運用の効率化と「Nakano Style」の推進に大きな期待がかかります。



18階に設けられたマルチスペース「Nagomi」。会議室不足解消のために、予約のいらないオープンスペースのミーティングエリアも設けられている。お客様をもてなす宴会や社員同士の懇親会、新発売商品のプレゼンテーションが行われることも。

19～21階の執務エリア中心部に設けられた階段。出入り口付近には、ちょっとしたミーティングのできるカウンターも設置されている。会社を超えたスムーズな移動やコミュニケーションを促すことが狙いだ。



POINT  
1

### 集中管理端末や自席のPCから会議室を予約。

3～5室ごとに1台ずつ設置された集中管理端末。タッチパネル上で該当する部屋を選択し、簡単に入室時の操作および予約、変更、確認ができる。予約、変更、確認は、自席のPCからも行うことができるほか、入力されたデータは、既存のグループウェア「Microsoft Exchange」とも連動している。

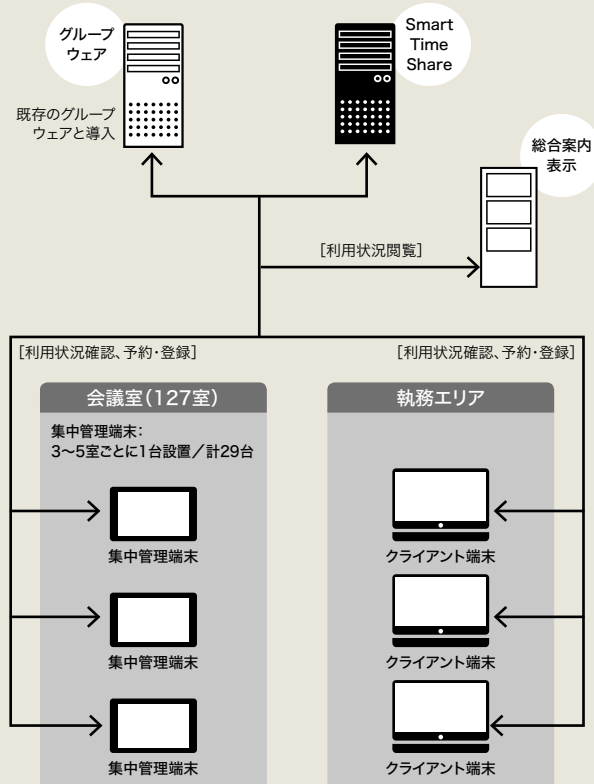


POINT  
2

### 総合案内表示で、 すべての会議室の利用状況が一目瞭然。

フロア中央部に設置された総合案内表示で、18階にある全57室の使用状況を開覧可能。その都度PCを立ち上げて使用状況を確認する煩わしさから解放されたと好評。今後は、フロアマップとの連動による、さらなる利便性の向上を検討している。

#### ■ システム構成図





## お客様の声



キリンビジネスシステム株式会社 様  
情報技術統括部 ワーキングスタイル変革グループ リーダー 小林 友紀 さん

キリンビジネスシステムは、キリングroup全体のIT関連業務を担当する、グループ唯一のシステム会社です。今回の本社移転以前より、キリンビジネスシステムにおいて、3年間にわたり「Smart Time Share」の運用、検証を行いました。タッチパネルひとつで会議室の運用管理ができる「Smart Time Share」は、以前からグループ内でも話題になっていました。また、私たちが使い慣れたシステムであるということも、本社移転時の導入の決め手になりました。今後は、入退室操作と照明の連動や、さまざまなタッチパネルデバイスでの入室操作ができるようになるといいですね。

## 担当者の声



株式会社内田洋行 オフィス事業本部  
オフィスエンジニアリング事業部 法人第2営業部 営業1課 黒澤 伸

小林様を中心としたワーキングスタイル変革グループの皆さまに、「Smart Time Share」の価値をご理解いただき、3年間の運用検証を経て今回中野新本社での採用となったことは、本当に大きな喜びでした。過去最大規模の管理端末数・部屋数と併せ、利便性向上のため設置した18階の総合案内表示（使用状況閲覧・確認用）は、大きな特徴です。

すでに約2,800名での本格運用が始まっております。会議室運用の効率化のテーマのもと引き続き、機器を含めたシステムに関わるサポートやカスタマイズのご要望に対応し、使い勝手や機能性の向上に努めます。

また今後も、キリン様が掲げる「Nakano Style」という新しいワーキングスタイルの取り組みに対して貢献できる善きパートナーとなるべく、努力してまいります。

内田洋行の提供する、知的生産性を向上させるオフィスソリューションをご覧ください。

<http://www.uchida.co.jp/office/>

内田洋行 オフィス

検索



お問い合わせ先

**内田洋行**

〒104-8282 東京都中央区新川 2-4-7

お客様相談センター | フリーダイヤル ☎ 0120(077)266